

令和6年度 きばいやんせふるさと基金活用事業一覧表

1 平和に関する事業

充当額 50,571千円

事業No.	事業名	事業内容
1	平和へのメッセージfrom知覧スピーチコンテスト事業	「平和を語り継ぐ都市」として、スピーチコンテストを通じて世界の恒久平和を願い、平和へのメッセージを広く発信することを目的に実施されている事業で、全国から「命の尊さ・平和の大切さ」をテーマとした作品募集をすることで、平和情報の発信と平和推進事業の取組を紹介することができた。また、発表の様子をインターネットライブ配信し全国に広報・発信することができた。
2	平和会館 誘客広報活動事業	広告掲出や新聞広告の掲載、ホームページを利用し広く平和会館の情報発信を行うことで、知覧特攻平和会館の入館者増が図られた。 (令和5年度末337,817人、令和6年度末408,785人、70,968人の増)
3	平和会館 隊員情報・特攻資料解説システム	広告掲出や新聞広告の掲載、ホームページを利用し広く平和会館の情報発信を行うことで、知覧特攻平和会館の入館者増が図られた。
4	平和会館 音声ガイドシステム更新	知覧特攻平和会館では特攻隊員の資料を収集・保存・展示している。来館されるお客様に見やすく分かりやすく見ていただくことを目的に、隊員の検索システム機器を設置することで利便性が向上し、来館者の増が図られた。
5	平和会館 企画展開催事業	知覧特攻平和会館の入館者確保のため、館内及び館外の企画展を実施できた。(館内企画展3回、館外企画展1回)
6	平和会館 収蔵紙資料修理事業	知覧特攻平和会館が収蔵する紙資料を後世に残すことを目的に、対処が必要な資料の修理を実施することにより資料の適切な保存が図られた。
7	平和会館 収蔵資料の保存状態調査事業	知覧特攻平和会館が収蔵する資料を後世に残すことを目的に、必要な保存・調査を実施することにより資料の継承が図られた。
8	平和会館 米国国立公文書館資料調査収集事業	米国国立公文書館に保管されている資料を独自に調査・入手し来館者へ紹介することができた。
9	四式戦闘機「疾風」保存状態調査事業	知覧特攻平和会館で所蔵し、世界に1機しか現存しない旧陸軍四式戦闘機「疾風」の適切な保存を目的とし、機体調査並びにオイル補充するなど必要な処置が行えた。
10	証言映像編集・制作業務委託	知覧特攻平和会館が所蔵する、戦争体験者の証言映像の一部を再編集映像化することで、特攻の史実を来館者に正しく伝えると共に、来館者の増が図られた。
11	遺品室3Dマッピング制作業務委託	基地周辺の現況及び戦跡等史実に基づき近年発達したプロジェクトマンマッピング技術等のデジタル技術を活用し再現するジオラマ展示施設を制作し、当時の基地を俯瞰で見ることで特攻の史実を来館者に伝えると共に集客も図る。

2 福祉の向上に関する事業

充当額 92,588千円

事業No.	事業名	事業内容
1	緊急通報システム事業	一人暮らしの高齢者で突発的に生命に危険な症状の発生する疾病を有する者が、急病その他の救助を必要とする事態に至ったときに必要な措置を講じることを目的とし緊急通報機器を設置することにより緊急時の迅速な対応及び不安解消に寄与した。
2	介護サービス人材確保対策事業	市が実施する介護職員初任者研修を受講する方や、市内の介護事業所に就労する方へ対象に補助金を交付することで、介護人材の育成・定着を促進し、介護サービスの質の向上につながった。
3	放課後児童クラブ利用者へのうち、非課税世帯、ひとり親世帯、多子世帯などの利用料及び小学1年生の7～8月分利用料等又は夏休み期間の利用料等を減免し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。	
4	保育士確保対策事業	市内の保育所等の保育士等の安定的な確保を図ることを目的とし、新たに働く保育士等の方が、希望をもって働くための就職支援として補助金を交付した。また、1年経過後の方にも南九州市内の子育て環境の充実に尽力した労を労い慰労金相当の補助金を交付した。
5	保育人材等確保事業	市内の保育所等で働く保育士等が参加する研修等に対する旅費や研修費用等を助成することにより、保育士等のキャリアアップ並びに就業継続に繋がった。
6	保育所等整備事業	既存施設の老朽化及び保育ニーズ多様化に対応するため、令和元年度より保育所等整備計画に基づき、順次保育所等の整備をおこなっている。保育所等の施設整備にかかる経費の一部を負担することにより、安全向上及び地域の保育の質・量の向上が図られた。
7	給食材料費等支援事業	物価高騰の影響を受けている保育所等が保護者負担を増やすことなく、栄養バランスや量を保った従前どりの給食が提供されるよう給食材料費を補助した。
8	地域子育て拠点支援事業 放課後児童健全育成事業 一時預かり事業 子育てしやすいまちづくりプロジェクト事業	地域子育て交流館において放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業及び子育てしやすいまちづくりプロジェクト事業等を実施することで子育て支援の充実に図った。
9	子ども医療費助成事業	南九州市の子ども（高校卒業まで）の保険適用分を助成する制度で、疾病の早期発見や早期治療を促進し、健康の保持増進と医療費の自己負担軽減を図り、子育て世帯へ支援を行った。
10	温泉割引管理システム構築事業費	市内温泉施設の利用促進と市民の健康保持と福祉増進を図るため、マイナンバーカードを活用した温泉割引システムの構築に基金を活用した。システムの構築により令和6年3月から温泉施設利用助成事業を開始することができた。

令和6年度 きばいやんせふるさと基金活用事業一覧表

3 地域の活性化に関する事業

充当額 512,265千円

事業No.	事業名	事業内容
1	LINEクーポン発行事業	市LINE公式アカウントを友だち追加している方を対象に、南九州市内の利用店舗において、飲食サービス他、特産品や日用生活品などにご利用いただける「みなこれクーポン」事業を実施した。当初の予定を大きく上回る利用があり、地域経済の活性化が図られた。また、市LINE公式アカウントの登録者数も27,000人まで増加することができた。
2	サテライトオフィス運営業務委託	サテライトオフィス進出企業への継続的なフォローに加え、地域の企業やコワーキングスペース利用者などの多様な人材が集うことで生まれる新たな連携や事業などのシナジー効果による地域活性化を図った。
3	市内企業パンフレット作成事業	地元高校生等への市内企業の魅力を知ってもらうため、市内企業パンフレットを作成して、地元企業の人材確保及び若者の流出を図ることができた。
4	地域活動活性化事業	地区公民館が地区内において地区活性化、教育・文化、地域福祉、安心・安全、生活環境をテーマにした地区住民が参加する新たな取組みを行う活動を表彰し、賞金を市内の事業者で消費することにより、地区公民館活動の促進、地区の絆のさらなる強化及び市内事業者の活性化を図られた。
5	地区コンプラ推進事業	地区公民館と自治会等が連携し、地区公民館を中心としたコミュニティ・プラットフォームを構築することで、地域の課題解決や地域自治活動の活性化が図られた。
6	まちづくり事業補助金(実践事業)	自治会やコミュニティ団体等が、自ら考え自ら実践するまちづくりに努める活動等に対して助成を行い、市の活性化を図られた。
7	移住定住促進事業業務委託	民間事業者との連携により、休日における移住相談体制を整えることができたほか、市の移住ポータルサイト「CONNIE(コンネ)」を構築し情報発信力を強化することができた。また、空き家のイベント・セミナーを企画し空き家の利活用を促進したほか、市内3地区の空き家実態調査を行い、潜在空き家の所有者との交渉につなげることができた。
8	空き家バンク登録促進事業補助金	空き家バンクへの登録を完了した物件の所有者等に対し、登録物件の家財道具等を処分するための費用の一部を支援し、空き家バンクへの登録促進及び移住希望者の円滑な移住促進を図ることができた。
9	空き家等活用支援事業補助金	市内に所在する空き家を、地域間交流及び移住定住を促進するための交流拠点施設等への改修を支援し、空き家の流動化を促進するとともに、地域団体の主体的な取組を図ることができた。
10	マイホーム取得支援事業補助金	移住定住の促進のため、住宅取得等に対し助成を行い、地域の活性化を図ることができた。
11	住み替え住宅リフォーム補助金	移住定住の促進のため、空き家のリフォームに対し助成を行い、地域の活性化を図ることができた。
12	働く若者定住促進事業補助金	若年層に対して、家賃の一部を補助することによって南九州市内への移住定住の促進を図ることができた。
13	子育て転入世帯家賃応援補助金	子育て世帯に対して、家賃の一部を3年間補助することによって南九州市内への移住定住の促進を図ることができた。
14	地域ブランディング事業費	南九州市の魅力の効果的に発信するため、PR動画の制作、フォトコンテストの開催等を行うことができた。また、令和7年度より開催するフォトフェスティバルに係る計画立案を行うことができた。
15	移住・交流お試し居住事業費	知覧武家屋敷庭園群の平山邸を南九州市への移住を希望する方の移住体験用の住居として提供する「お試し居住」の取組みを実施することができた。
16	サテライトオフィス進出助成金	サテライトオフィスを構えた企業に対する補助金制度で、1社の進出があった。
17	サテライトオフィス誘致事業	サテライトオフィス誘致に係るマーケティングやサイト運営などの業務を委託し、引き続き進出に向けた協議を行っている。
18	知覧茶葉古道プロジェクト事業	「誰もが知る知覧茶」をコンセプトに認知度及びブランド価値の向上を図ることを目的として、ブランドブック「茶本」やプロモーションコースターの作成を行うことができた。
19	知覧茶PR事業(消費拡大)	一煎バック等のノベルティ制作・配布、知覧茶アンバサダー養成講座の開催、各種イベントでのお茶ふるまいで知覧茶のPRが図ることができた。
20	地域資源活用事業補助金	地域資源を活用して特産品の開発や加工を行う事業者を支援することができた。併せて、本市の基幹産業である一次産業の多角化や活性化が図られた。
21	南九州市名物創生事業	新たな名物となる商品の開発を促進し、「みな、みりょく」のコンテンツ展開を行い、観光客等へのより一層のサービス向上とさまざまな産業への経済効果の波及が図られた。
22	特産品販売促進事業	集客施設に特産品販売基点を設置することにより、市民のみならず入込客へ本市の魅力ある特産品をPRできる場が生まれ、特産品の販売促進が図られた。
23	商店街課題解決補助事業	商店街の空き店舗活用に係る取組に補助を実施し、当該店舗を活用したイベントが開催される等、地域の活性化が図られた。
24	創業・事業承継補助事業	次代の後継者・経営者が開業する取組に対し経費の一部を補助することで、産業振興及び創業と事業承継の機運の醸成を図られた。
25	南九州市企業の稼ぐ力支援事業	商談会等に出展する市内中小企業者等に対し、出展に要する経費の補助を行ったことで、商業活性化に繋がった。
26	みなコレ魅力発信事業	市や市の特産品の魅力発信を行うことで、知名度向上やふるさと納税の周知が図られた。
27	特産品PR促進事業	市の特産品の魅力発信を行うことで、知名度向上が図られた。

令和6年度 きばいやんせふるさと基金活用事業一覧表

28	南九州市サポータークラブ制度事業	市外在住者を対象としたサポーター登録制度を運営し、バスツアー等の機会を活用したりリーダーの獲得、イベントでの交流等を行うことができた。
29	観光物産PR事業	イベント等を通して観光や特産品のPRを行うことにより、南九州市の魅力を発信することができた。
30	観光DMO設立準備支援業務委託	戦略的な観光地経営を行えるよう、地域の多様な関係者と協力しながら観光地域づくり法人（DMO）の設立に向けた準備を行うことができた。
31	海外個人旅行者（FIT）誘客整備事業	本市を訪れる海外個人旅行者の受入環境整備のため、観光案内用AIチャットボットを導入することができた。日本語・英語・韓国語・中国語（繁体字・簡体字）に対応。
32	アウトドア事業	アドベンチャーパーク森のかわなべ環境整備のため、受付棟横に日よけテントを購入することができた。
33	体験プラットフォーム造成プロジェクト事業	観光体験メニューの開発、首都圏での情報提供イベントの開催やサイトの英語対応を行うことにより、利用促進に努めることができた。
34	清水の湧水リニューアル事業	名水百選・水の郷百選に選定されている清水の湧水周辺の植栽、排水等の改修を行うことができた。
35	アグリランドえい外灯更新工事	外灯の灯具をLEDに更新し、利用者の安全性と利便性の向上が図られた。
36	オートキャンプ森のかわなべ外灯更新工事	支柱と合わせ灯具もLEDに更新し、利用者の安全性と利便性の向上が図られた。
37	武家屋敷体験型コンテンツ導入事業	知覧武家屋敷庭園群を楽しく学べるARコンテンツを導入し、併せて看板も更新することができた。日本語・英語に対応。
38	武家屋敷庭園トイレ改修工事	知覧武家屋敷周辺のトイレ4か所について、内装改修を行い、観光客の方が快適に利用できるようになった。
39	道路交通安全施設整備事業	道路環境が適正に改善されることで、通行車両はもとより通学児童や歩行者等の安心・安全で快適な暮らしにもつながり、交通事故防止も図られた。
40	景観まちづくり推進事業	景観を保全・活用していくための瀬平地区計画を作成した。また、景観スポット等の整備で周辺地域への回遊を促進し、地域活性化との相乗効果が生まれ、観光客の増加及び地域への愛着が醸成された。
41	都市計画マスタープラン策定事業	アンケート調査を実施し、マスタープラン作成に必要な基礎資料を収集することができた。また、各種委員を対象に研修を実施し、都市マスについての理解を深めることができた。
42	防災・安全交付金事業費	防災・安全交付金事業を活用し、公園施設長寿命化計画の策定、諏訪運動公園遊具更新や諏訪・頼娃運動公園の防護柵更新を行い、施設利用者の安全性と利便性の向上が図られた。
43	手蓑マザーパーク東屋等改修事業	手蓑マザーパークの東屋を改修し、利用者の利便性の向上が図られた。
44	番所公園 駐車場整備	番所公園の来園者の増加に伴う対策として、駐車場拡張整備が行えた。
45	知覧テニスの森ナイター照明LED改修	ナイター施設のLED照明による改修を行い、利用者の利便性向上が図られた。
46	川辺新町公園整備事業費	新設の川辺新町公園トイレ・東屋工事実施に向け設計業務が完了した。
47	岩屋公園キャンプ場ウッドデッキ改修	岩屋公園キャンプ施設のロジウッドデッキの改修を行い、施設利用者の安全性の向上が図られた。
48	塘之池公園桜の回復対策事業	塘之池公園の桜の樹勢回復を行うことができた。
49	公民連携によるパークマネジメント	民間（地域）と行政の連携による公園管理運営の取組みとして、番所公園を拠点とした活動・交流のためのソフト・ハード（ツリーハウス）整備が完了し、新たなパークマネジメントを構築することができた。
50	知覧平和公園ゲートボール場休憩所新築事業	知覧平和公園ゲートボール場の東屋を改修し、利用者の利便性が図られた。
51	知覧平和公園テニスコート整備工事	知覧平和公園テニスコート（クレー、ハード）の改修を行い、利用者の利便性が図られた。
52	諏訪運動公園整備事業	諏訪運動公園の東屋と中央トイレに浄化槽の設置が行えた。
53	頼娃運動公園グリーン広場防球ネット更新	頼娃運動公園グリーン広場防球ネット・支柱の改修を行い、利用者の安全性と利便性の向上が図られた。
54	知覧平和公園リトルホームランフェンス基礎設置事業	国際規格の変更に伴い改修することで、公式大会の開催誘致が図られた。
55	配合飼料高騰対策事業費	配合飼料の著しい価格高騰の影響により厳しい経営環境におかれている市内の畜産農家に対し、補助金を交付することで経営の維持及び継続のための支援を行った。
56	肥料高騰対策支援事業	長期化する肥料価格の高止まりにより、厳しい経営環境におかれている農業者に対して肥料費を一部助成することで、次期作の経営継続・安定化に寄与した。

4 教育の推進及び文化の保全に関する事業

充当額 158,170千円

事業No.	事業名	事業内容
1	市内高等学校活性化対策事業補助金	生徒募集に係る広報活動支援や英語等検定及び技能に係る国家資格等検定受験料補助などの教育活動支援により、市内県立高等学校の振興・活性化が図られた。
2	伝建地区保存管理事業費	伝建地区内市所有物件の生垣庭木剪定と、旧高城家住宅茅葺屋根の補修を行い、歴史的景観を維持することができた。
3	地域資源マップ・地域資源看板設置事業	地区公民館等に「地域のお宝案内看板」を設置して、地区内の地域資源の活用を図ることができた。
4	南九州市指定文化財候補調査事業	飯倉神社宝物和鏡の鑑定、神殿九玉神社社殿測量等を行い、文化財の指定に必要な調査資料を作成することができた。
5	飯倉神社「馬上杯」レプリカ作成事業	重要資料である馬上杯のレプリカ作成したことで、実物資料を収蔵庫で適切に保管し、展示及び活用を図ることができた。
6	清水磨崖仏保存活用事業	倒壊の恐れのある大五輪塔等について、保存活用検討委員会を開催し、今後の保存方針を検討することができた。
7	知覧城跡保存活用整備事業	史跡整備に向けて、保存活用計画を策定するための保存活用検討委員会を開催することができた。
8	南九州市史編さん事業費	令和9年の『南九州市史』の刊行に向けて、市史編さん委員会・市史編集委員会を開催することができた。
9	かわなべ青の俳句大会	俳人福永耕二の業績をしのび児童生徒が俳句づくりを通じて、故郷の美しい風情を愛し、日本語の美しさに対する理解を深めることができた。
10	公立小学校AED収納ボックス購入事業	校舎内に配置しているAEDを校舎外に収納ボックスを設置することにより、平日だけでなく、土日や放課後も、誰でも使用できる環境が整えられた。
11	小学校教育振興備品購入事業（教材・タブレット）	小学校の教材備品や、一人一台端末の整備により教育活動の充実を図ることができた。

## 令和6年度 きばいやんせふるさと基金活用事業一覧表

12	小学校教科書改訂事業	教科書改訂による教師用教科書及び指導書の整備ができた
13	学びのグレードアップ3か年プロジェクト(小学校)	各学校の特色ある教育活動の充実を支援するための消耗品を購入できた。
14	小学校ICT推進事業	ICT支援員の配置、プログラミング教材の整備、新聞活用学習サイト利用、Wi-Fiルーターレンタル等、ICT教育の充実を図れた。
15	屋内運動場照明LED化事業(2小学校)	屋内運動場のLED化により、節電と維持管理費の軽減につながるとともに、子供たちの教育環境の充実が図られた。
16	公立中学校AED収納ボックス購入事業	校舎内に配置しているAEDを校舎外に収納ボックスを設置することにより、平日だけでなく、土日や放課後も、誰でも使用できる環境が整えられた。
17	中学校教育振興備品購入事業(教材・タブレット)	中学校の教科書改訂による指導書や教材備品、一人一台端末の整備により、教育活動の充実を図れた。
18	教科書改訂に伴う教師用教科書・指導書	教科書改訂による教師用教科書及び指導書の整備ができた。
19	学びのグレードアップ3か年プロジェクト(中学校)	各学校の特色ある教育活動の充実を支援するための消耗品を購入できた。
20	キャリア教育『夢の懸け橋』事業	著名人を招聘し、講演において体験等を聴くことで、中学生が自己の将来像を描くことができ、意欲的な学びへのきっかけとなるような内容の事業を実施することができた。
21	中学校ICT推進事業費	ICT支援員の配置、オンラインドリルや新聞活用学習サイト利用、Wi-Fiルーターレンタル等、ICT教育の充実が図られた。
22	家庭教育充実事業費	家庭教育学級の実施により、家庭教育力向上が図られた。
23	地域子ども教室推進事業	小学校区を基本単位として、子どもたちの居場所づくり(活動拠点)を確保し、地域の大人の協力を得て、子どもたちの放課後や週末における学習活動・読書活動・文化活動・スポーツ活動等の様々な体験活動や地域住民との交流活動を実施することができた。
24	地域学校協働活動推進事業	地域学校協働活動は、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働する活動である。体験活動等の充実や児童生徒と地域の方々との交流が図られた。
25	学校給食用地場産物活用事業	市内の小中学校に通学する児童生徒が、地場産物について理解を深め郷土愛を育むため、献立を工夫し、地場産物を食材とした給食を提供することができた。 提供食材等：かわなべ牛、川辺メロン、知覧茶フィナンシェ、からいも餅、いちご、知覧茶かるかん等
26	茶給食事業	児童生徒が本市の基幹農産物で特産品であるお茶を飲用することにより、お茶文化についての理解を深めることができた。
27	学校給食用食材費物価高騰対策事業	給食用食材の値上がりによる給食の質の低下及び児童生徒の栄養価の低下を抑え、児童生徒が健やかに成長できるよう支援することができた。

## 5 その他の事業

充当額 175,678千円

事業No.	事業名	事業内容
1	予防接種関係事業	子どもの予防接種は、生後2か月頃から始まり、多くの種類のワクチンを複数回接種し、様々な免疫を付けるために非常に重要な役割を担っている。免疫が不十分な幼少期を安心して暮らすことに寄与できた。
2	妊産婦健康診査関係事業	各健診の助成により早期受診につながっており、安全に出産するために欠かせない事業となっている。又、県外へ里帰りをする方には、医療機関との契約締結や還付できることも、負担軽減になっている。産後ケア事業は、事業の周知もされ前年度より利用者が増加し、必要な方に支援が提供できた。
3	乳幼児健康診査関係事業	各種健診を実施し、対象の保護者や児が医師・歯科医師をはじめとした各種専門職による診察や指導を受ける機会をつくり、乳幼児期の疾病の早期発見や保護者の育児不安の軽減を図った。3歳児健診においては屈折検査機器による屈折検査を実施し、視力の異常の早期発見、医師による精密健康診査の発行及び病院受診勧奨を行い、早期治療につなげることができた。乳幼児健診の平均受診率は94.9%であった。
4	特定不妊治療費助成事業	不妊治療は、公的費用助成制度はあるものの非常に高額であり、不妊に悩む夫婦にとって、経済的にも精神的にも大きな負担となっている。令和6年度は23件が申請を行い、経済的な負担軽減になり、子どもを産み育てやすい環境づくりに寄与した。
5	新規就農者確保対策事業(地方創生)	農業従事者の高齢化や後継者不足といった課題の克服に向け、就農準備から定着までをソフト面でサポートし、新規就農者等の確保と併せた移住・定住の促進による関係人口の増加を目的とする。独自の就農ポータルサイトによる情報提供、若手を対象とした経営塾やお試し農業体験ツアーを開催した。若手を中心とした後継者等(10名)に経営塾(5回)を開催し経営者育成に寄与した。また、お試し農業体験ツアーを開催し南九州市の農業の魅力をPRできた。就農ポータルサイトを完成することができた。
6	かんしよ重要病害虫等総合対策事業	硬質プラスチックハウス等の修繕を行い、さつまいもが付苗供給体制の充実が図られた。さつまいも実証展示園については、11月1日に現物検討会、12月17日に実績報告会を実施し情報提供をすることができた。
7	学校給食費補助事業	子育て世帯の経済的な負担軽減を行い、子育て支援を推進するため、市内外の小中学校等に通学する児童生徒の保護者に対し、学校給食費の全額を補助することができた。 補助対象児童生徒数：小学生1,463名、中学生763名